

研修会議 I

令和7年度実態調査 結果概要

2026年9月24日（木） 11:35～11:55

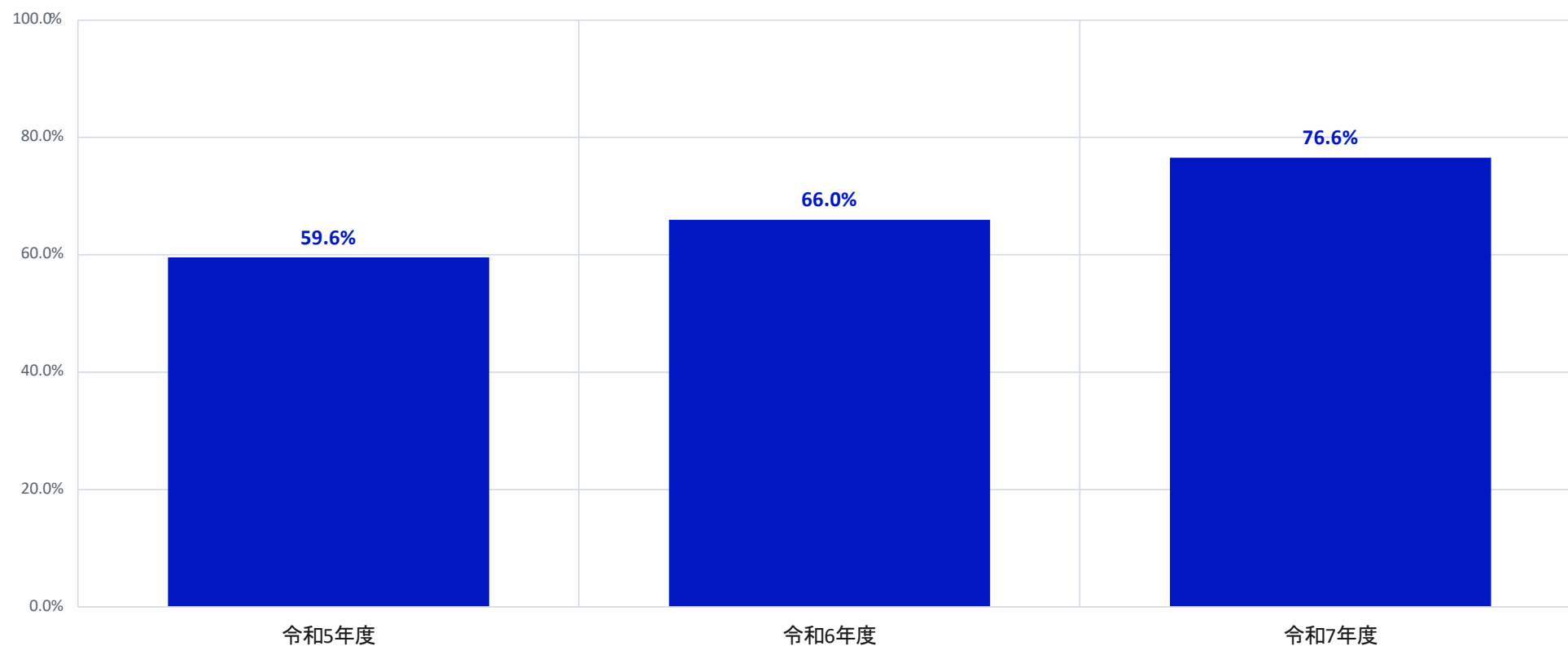
在宅医療・介護連携推進事業 実態調査WG 座長 村松 圭司

第1部 体制整備はどこまで進んだか

都道府県協議会の設置率

協議の場は都道府県で広がった

単位：％

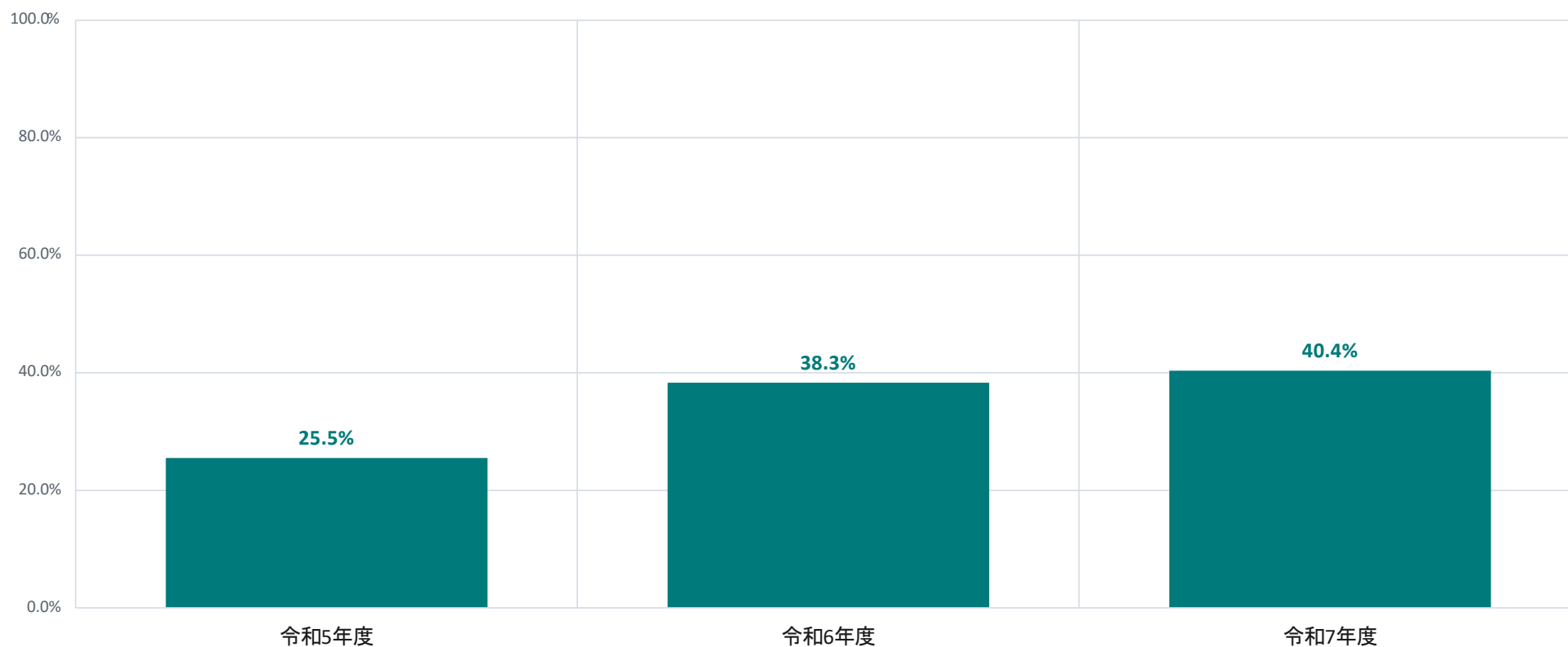


出典：厚生労働省『令和7年度 在宅医療・介護連携推進支援事業に係る調査等一式 事業報告書』 | 本文p31 | 設問：都道府県協議会の設置状況（経年） | n=47 | <https://www.mhlw.go.jp/content/001698233.pdf>

都道府県の育成支援実施率

人材育成への支援も拡大

単位：％

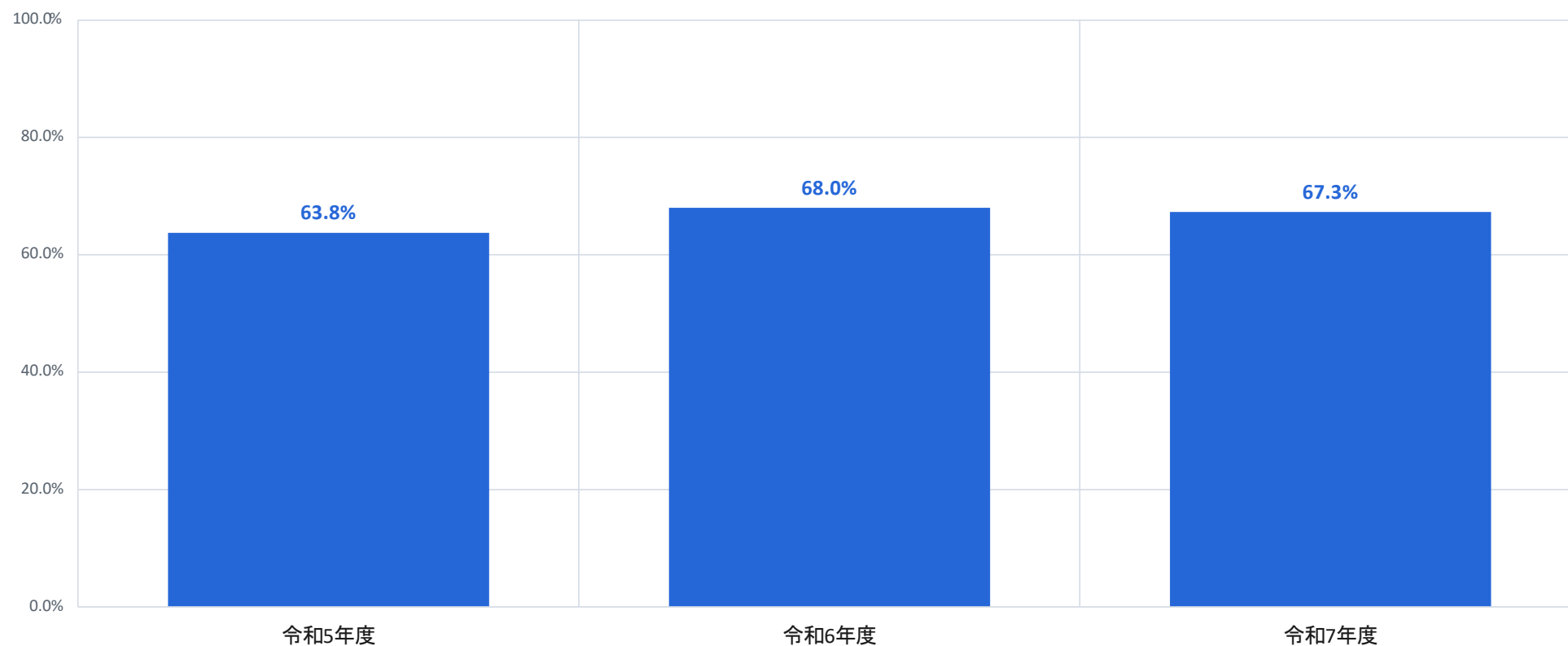


出典：厚生労働省『令和7年度 在宅医療・介護連携推進支援事業に係る調査等一式 事業報告書』 | 本文p33 | 設問：都道府県によるコーディネーター育成支援 | n=47 | <https://www.mhlw.go.jp/content/001698233.pdf>

市町村協議会の設置率

都道府県は上昇、市町村は約3分の2で横ばい

単位：％

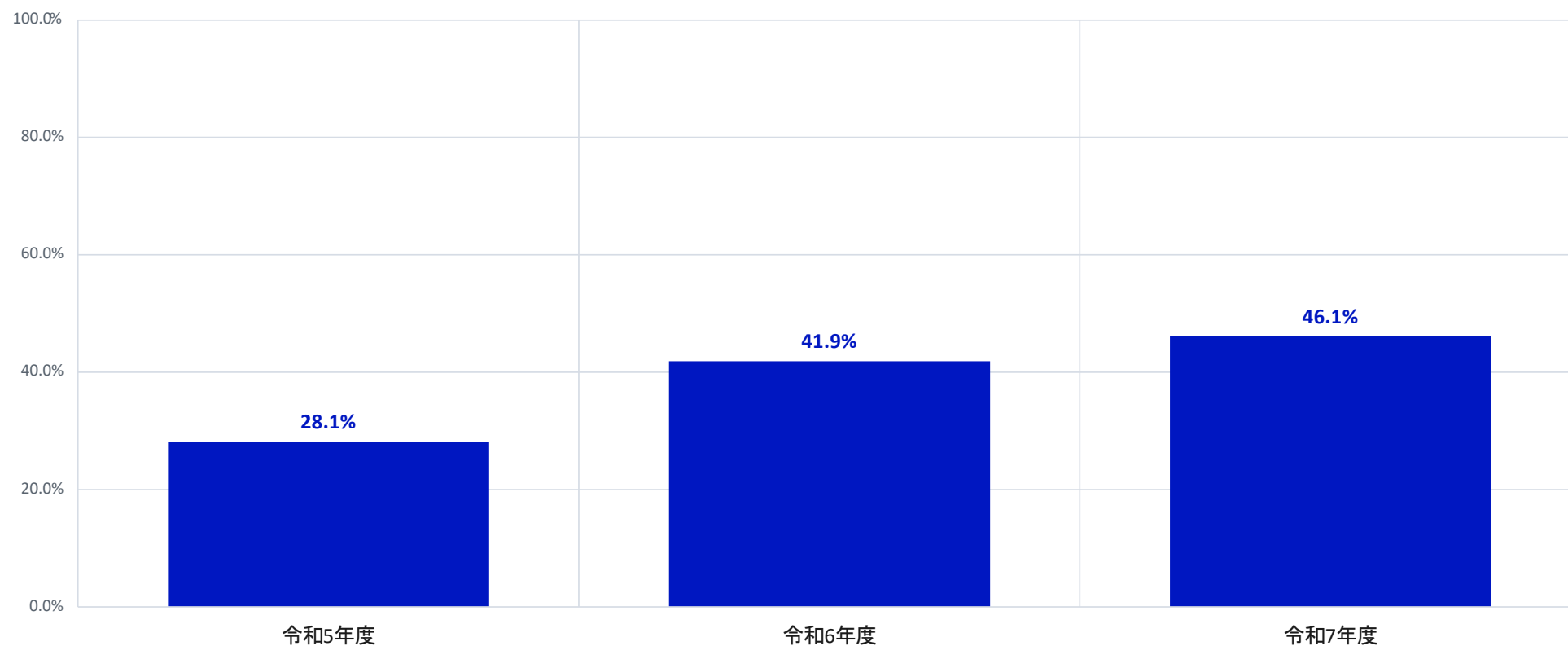


出典：厚生労働省『令和7年度 在宅医療・介護連携推進支援事業に係る調査等一式 事業報告書』 | 本文p36 | 設問：市町村協議会の設置状況（経年） | n=1,741 | <https://www.mhlw.go.jp/content/001698233.pdf>

4場面すべてで『あるべき姿』を設定

目指す姿を置く市町村は増加

単位：％



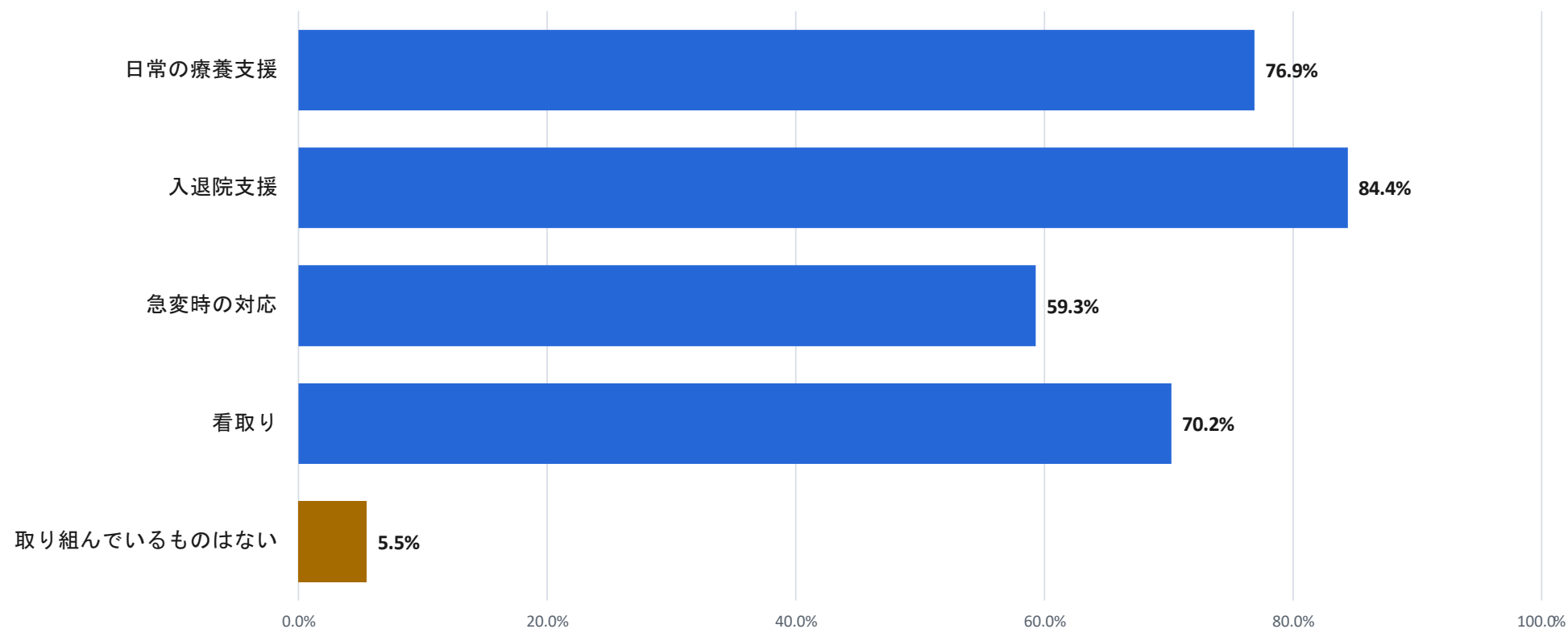
出典：厚生労働省『令和7年度 在宅医療・介護連携推進支援事業に係る調査等一式 事業報告書』 | 本文p36 | 設問：4場面すべてで『あるべき姿』を設定 | n=1,741 | <https://www.mhlw.go.jp/content/001698233.pdf>

第2部 体制と機能の間に残る隔たり

4場面の取組状況

取り組む場面には濃淡がある

単位：％



出典：厚生労働省『令和7年度 在宅医療・介護連携推進支援事業に係る調査等一式 事業報告書』 | 本文p37 | 設問：在宅医療・介護連携の取組状況（複数回答） | n=1,741／主要5項目を表示 | <https://www.mhlw.go.jp/content/001698233.pdf>

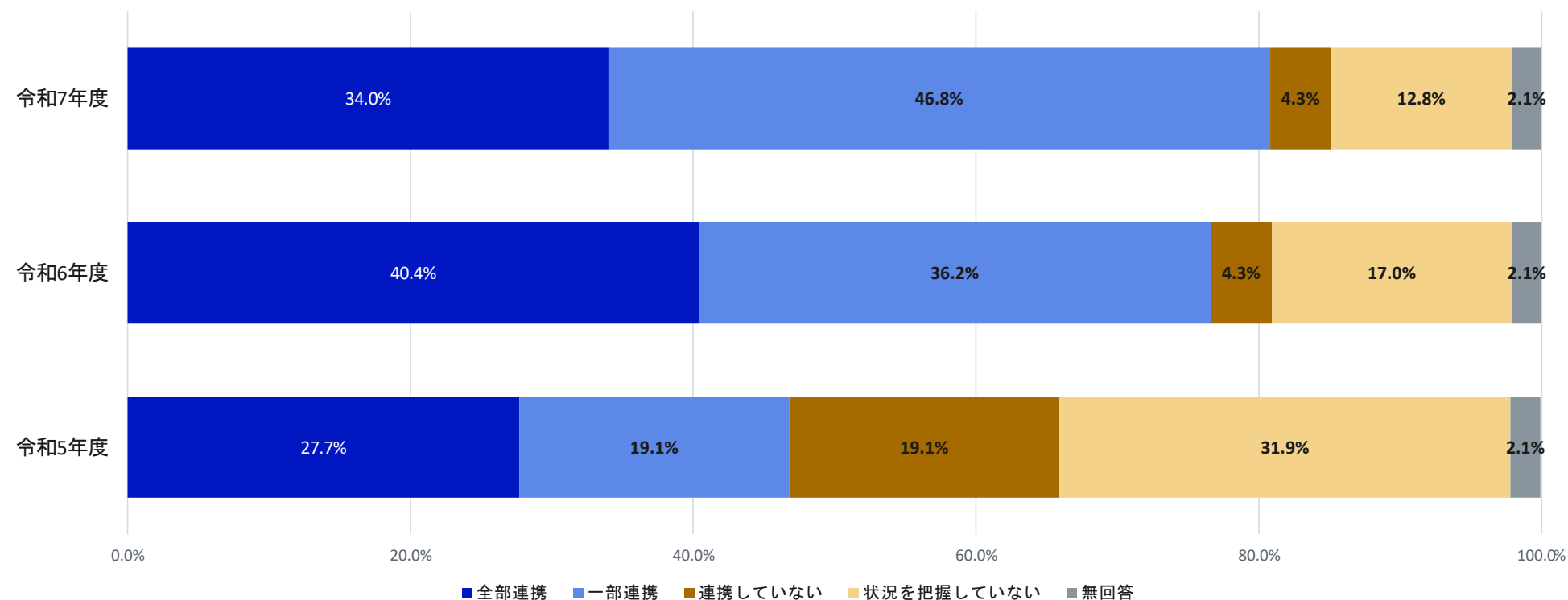
第2部 体制と機能の間に残る隔たり

都道府県と必要な連携拠点の連携状況

「状況を把握していない」は減少、ただし全部連携は単調に増えていない

単位：％／構成比

設問：都道府県内の「在宅医療に必要な連携を担う拠点」と市町村の在宅医療・介護連携推進事業の連携状況



出典：厚生労働省『令和7年度 在宅医療・介護連携推進支援事業に係る調査等一式 事業報告書』 | 本文p34 | 設問：必要な連携拠点との連携状況（複数区分） | n=47 | <https://www.mhlw.go.jp/content/001698233.pdf>

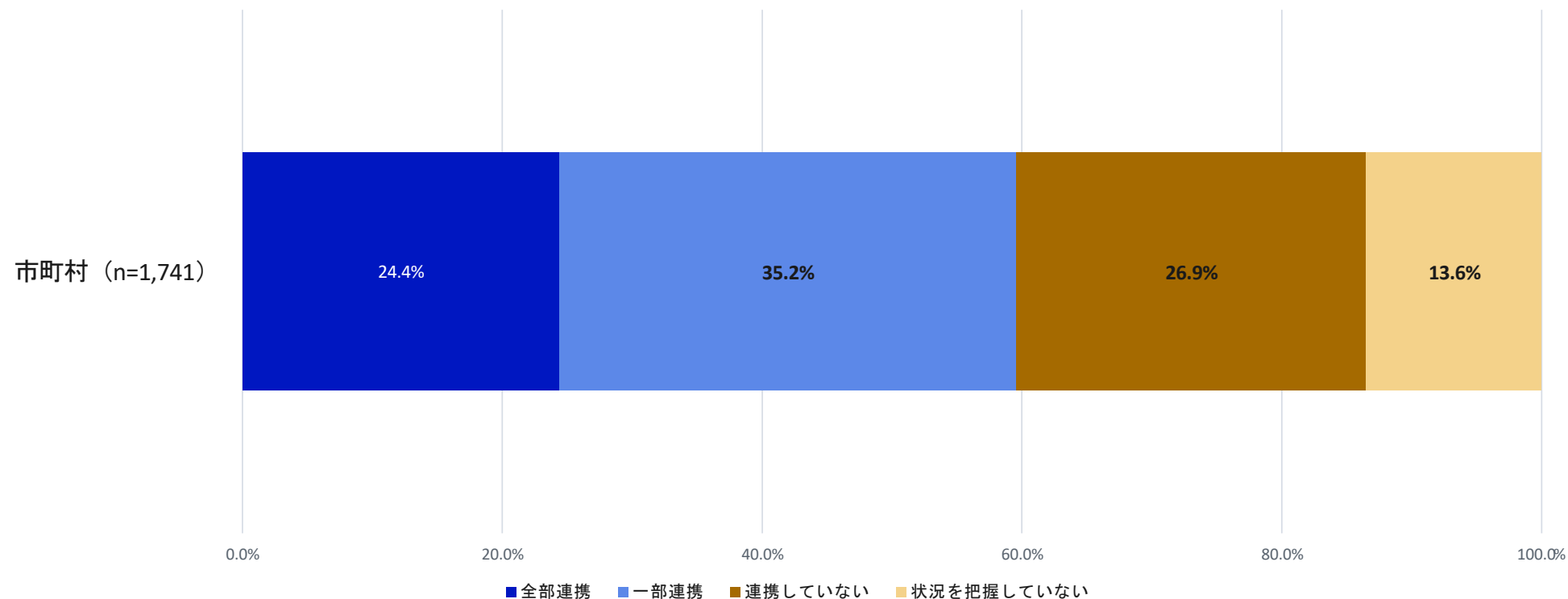
第2部 体制と機能の間に残る隔たり

市町村と必要な連携拠点の連携状況

市町村では全部連携24.4%。都道府県（前頁34.0%）より低い

単位：％／構成比

設問：都道府県内の「在宅医療に必要な連携を担う拠点」と市町村の在宅医療・介護連携推進事業の連携状況

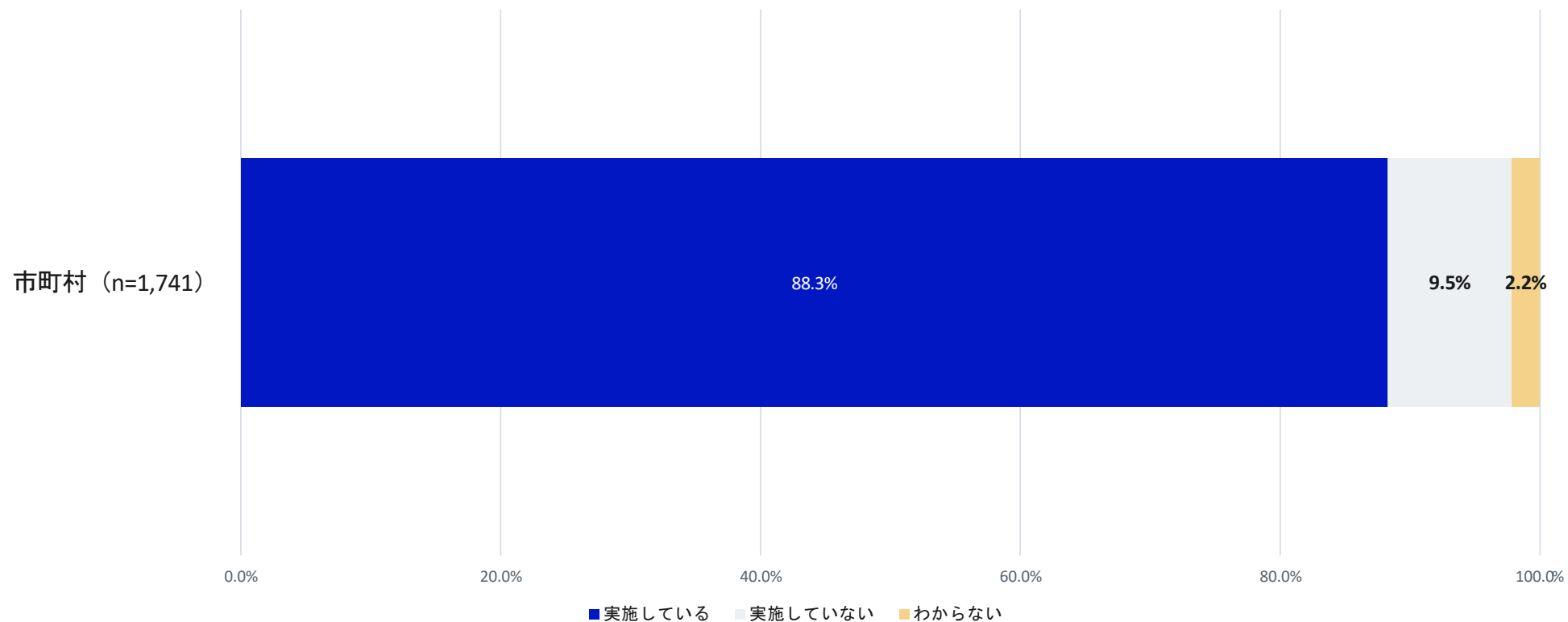


出典：厚生労働省『令和7年度 在宅医療・介護連携推進支援事業に係る調査等一式 事業報告書』 | 本文p40 | 設問：必要な連携拠点との連携状況 | n=1,741／合計は丸めにより100.1% | <https://www.mhlw.go.jp/content/001698233.pdf>

相談支援の実施状況

実施率が高い。質・利用・結果はこの数値では分からない

単位：％

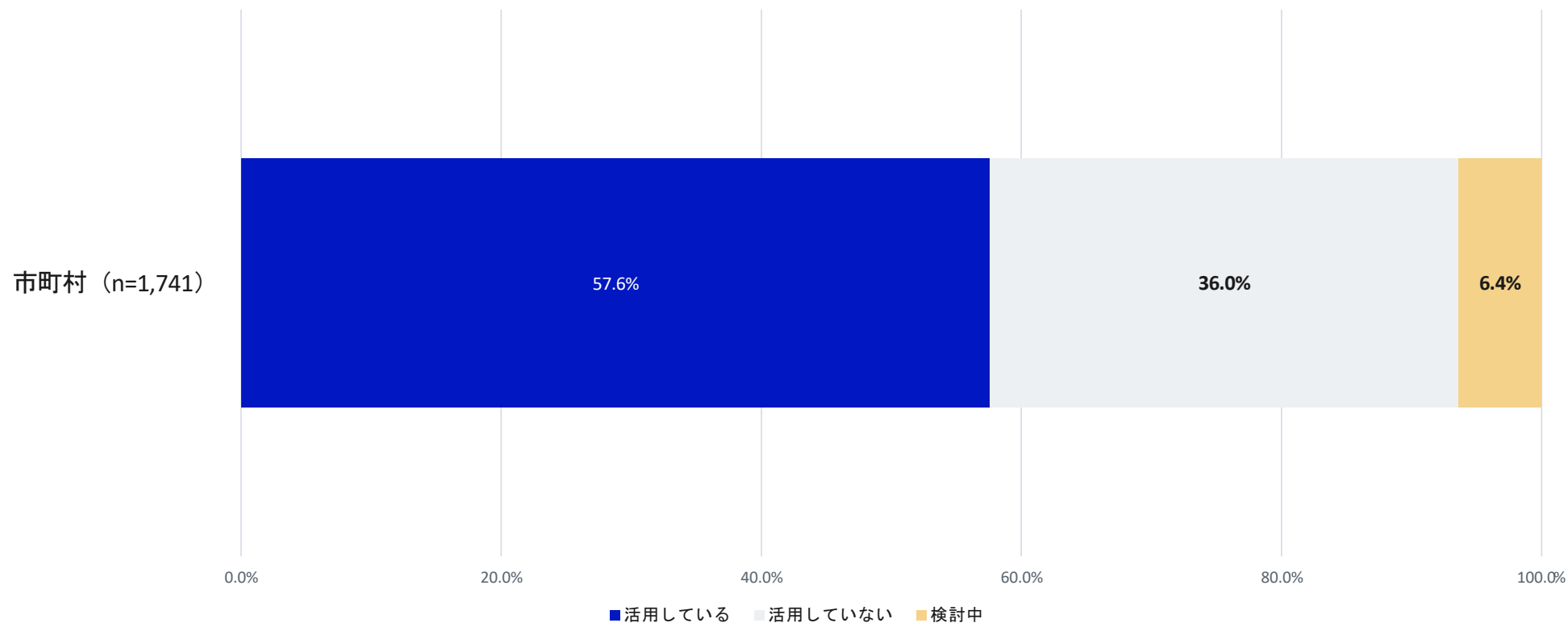


出典：厚生労働省『令和7年度 在宅医療・介護連携推進支援事業に係る調査等一式 事業報告書』 | 本文p39 | 設問：相談支援の実施状況 | n=1,741 | <https://www.mhlw.go.jp/content/001698233.pdf>

高齢者の情報共有ツール活用

情報をつなぐ道具は約6割に

単位：％

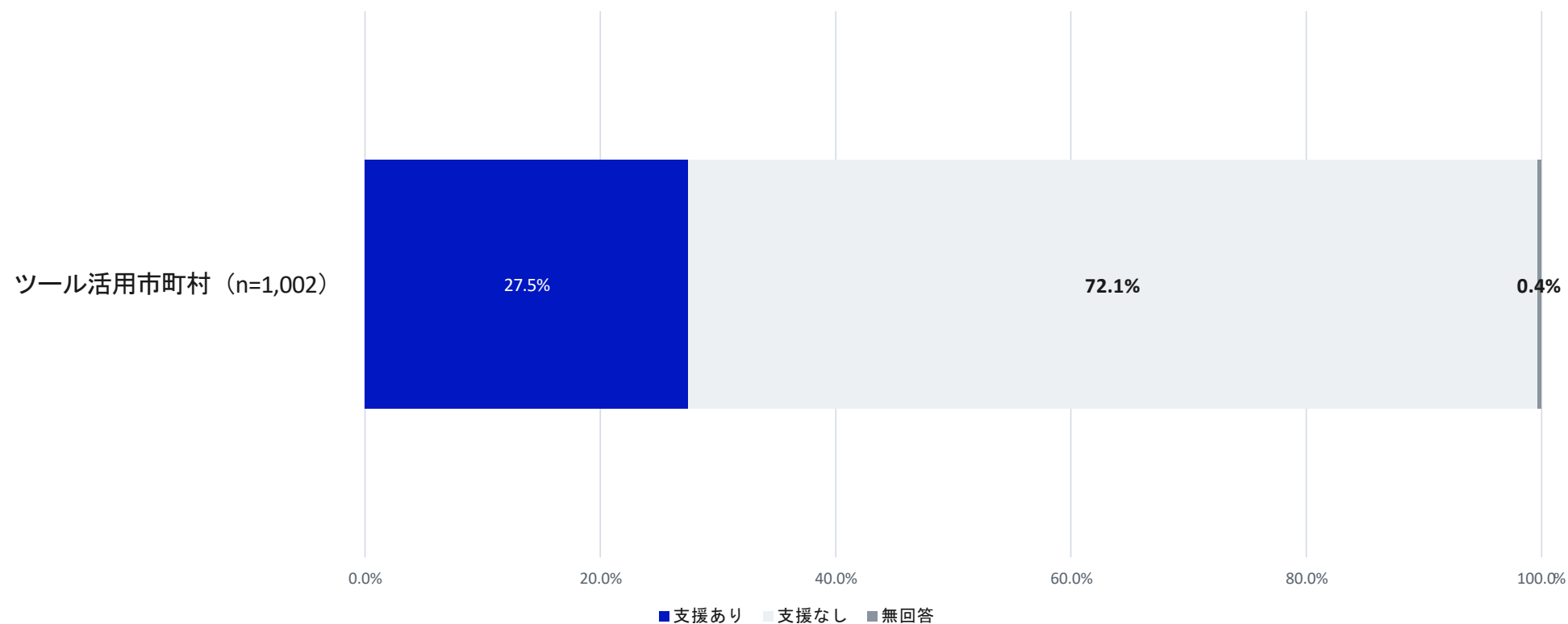


出典：厚生労働省『令和7年度 在宅医療・介護連携推進支援事業に係る調査等一式 事業報告書』 | 本文p37 | 設問：高齢者の情報共有ツールの活用状況 | n=1,741 | <https://www.mhlw.go.jp/content/001698233.pdf>

ツール活用市町村への都道府県支援

ツールを活用する市町村（n=1,002）に限ると、都道府県の支援は約4分の1

単位：％



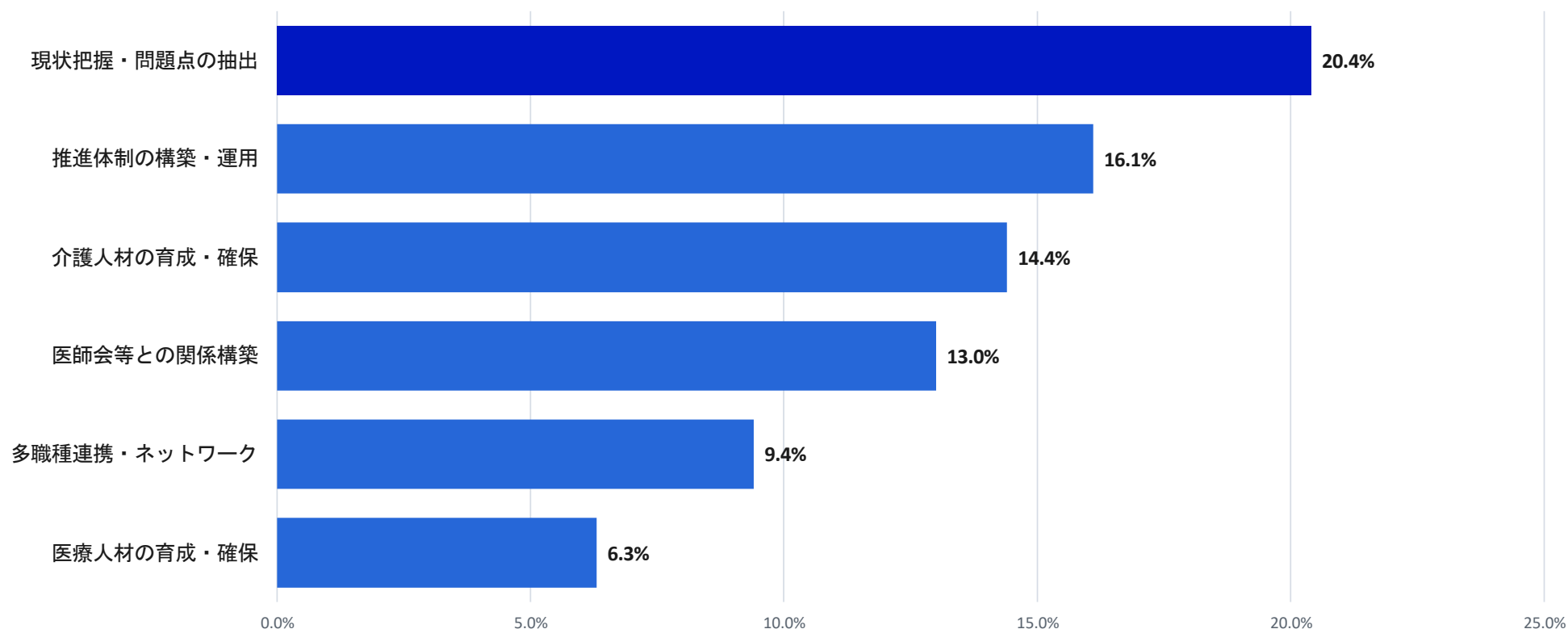
出典：厚生労働省『令和7年度 在宅医療・介護連携推進支援事業に係る調査等一式 事業報告書』 | 本文p37 | 設問：情報共有ツール活用市町村への都道府県支援 | n=1,002（ツール活用市町村） | <https://www.mhlw.go.jp/content/001698233.pdf>

第3部 問題設定とつなぐ役割を支える条件

市町村が最優先とする課題

最優先は「現状把握と問題点の抽出」

単位：％

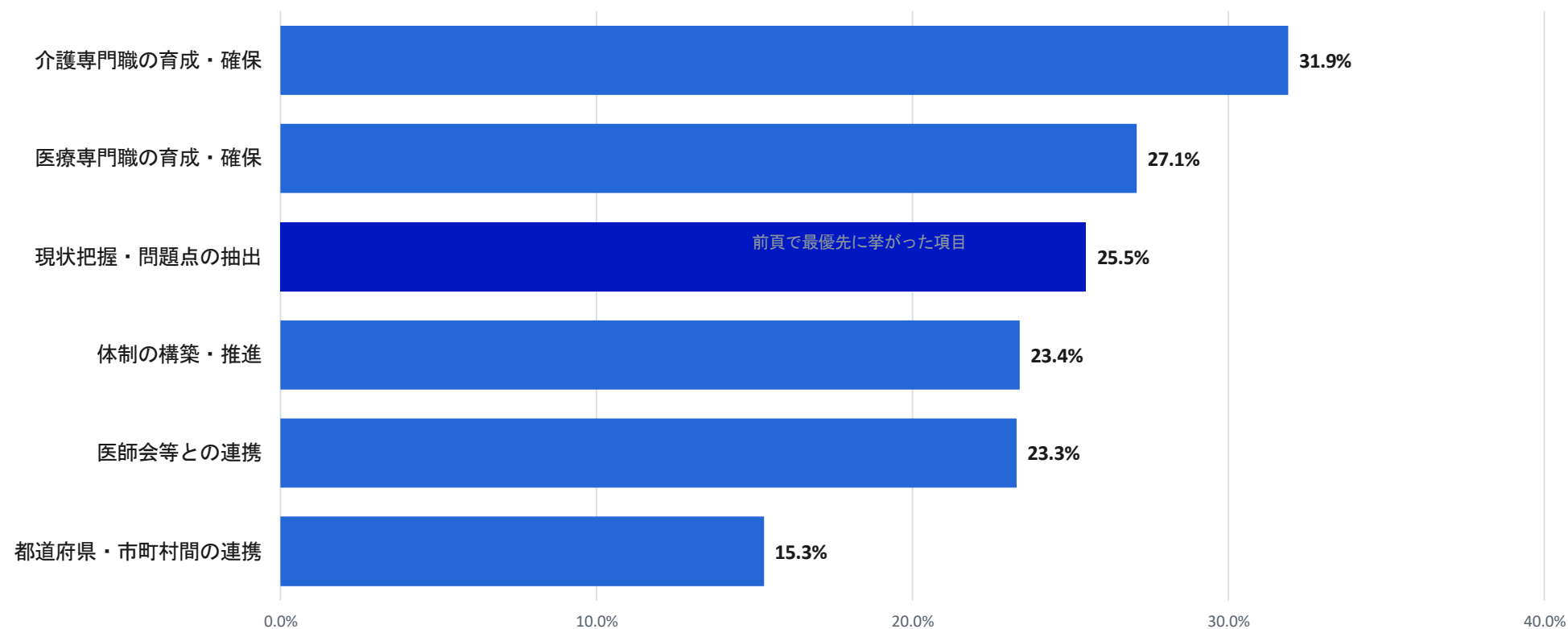


出典：厚生労働省『令和7年度 在宅医療・介護連携推進支援事業に係る調査等一式 事業報告書』 | 本文p38 | 設問：市町村の最優先課題（1つ） | n=1,741／上位6項目を表示 | <https://www.mhlw.go.jp/content/001698233.pdf>

国・都道府県に期待する支援

前頁と同じ『現状把握・問題点の抽出』が、期待する支援にも並ぶ

単位：％

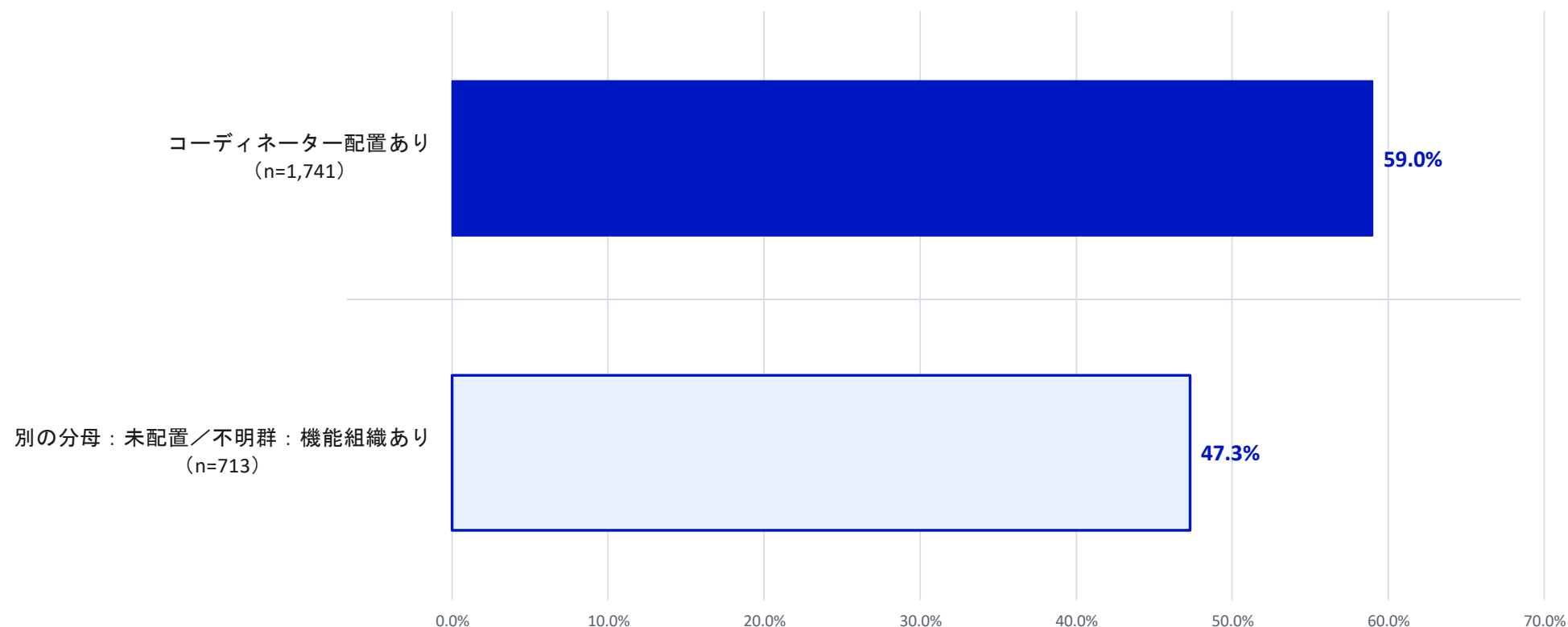


出典：厚生労働省『令和7年度 在宅医療・介護連携推進支援事業に係る調査等一式 事業報告書』 | 本文p38 | 設問：国・都道府県に期待する支援（3つまで） | n=1,741／上位6項目を表示 | <https://www.mhlw.go.jp/content/001698233.pdf> | 前頁とは設問形式が異なるため直接比較しない

コーディネーター配置と機能組織

個人の配置がなくても、機能を担う組織がある

単位：％

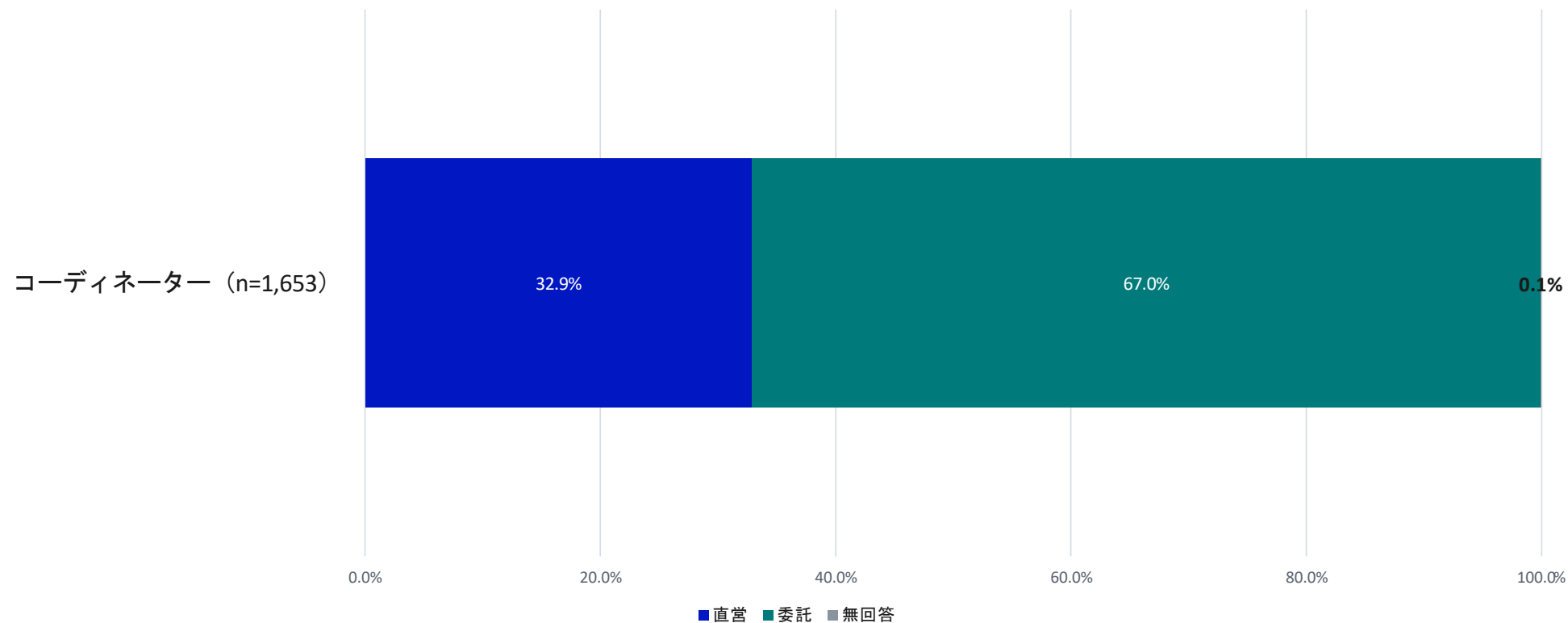


出典：厚生労働省『令和7年度 在宅医療・介護連携推進支援事業に係る調査等一式 事業報告書』 | 本文p39 | 設問：コーディネーター配置／未配置・不明群の機能組織 | 配置 n=1,741／未配置・不明群 n=713 | <https://www.mhlw.go.jp/content/001698233.pdf>

コーディネーターの業務形態

直営・委託は優劣ではない

単位：％

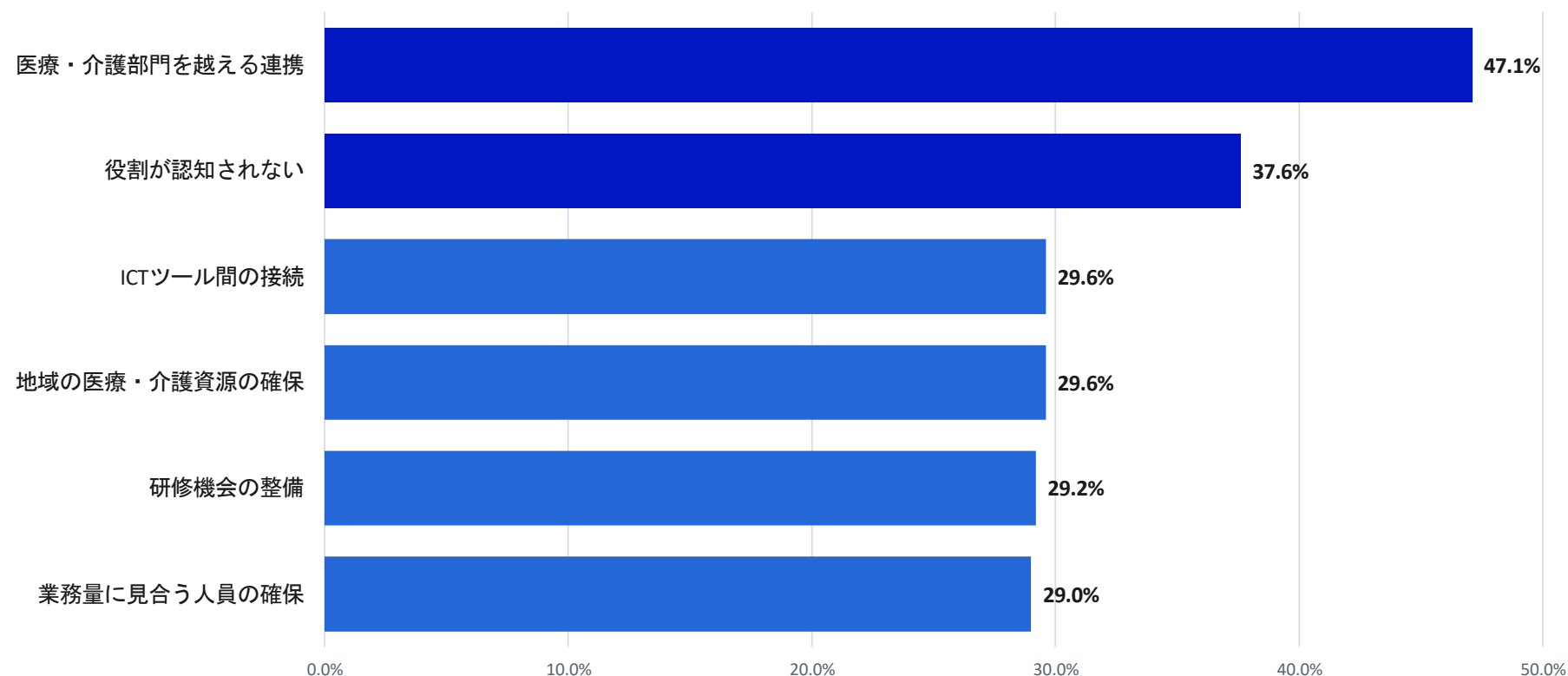


出典：厚生労働省『令和7年度 在宅医療・介護連携推進支援事業に係る調査等一式 事業報告書』 | 本文p42 | 設問：コーディネーターの業務形態 | n=1,653 | <https://www.mhlw.go.jp/content/001698233.pdf>

コーディネーターが挙げた課題

最大の課題は部門を越えた連携

単位：％

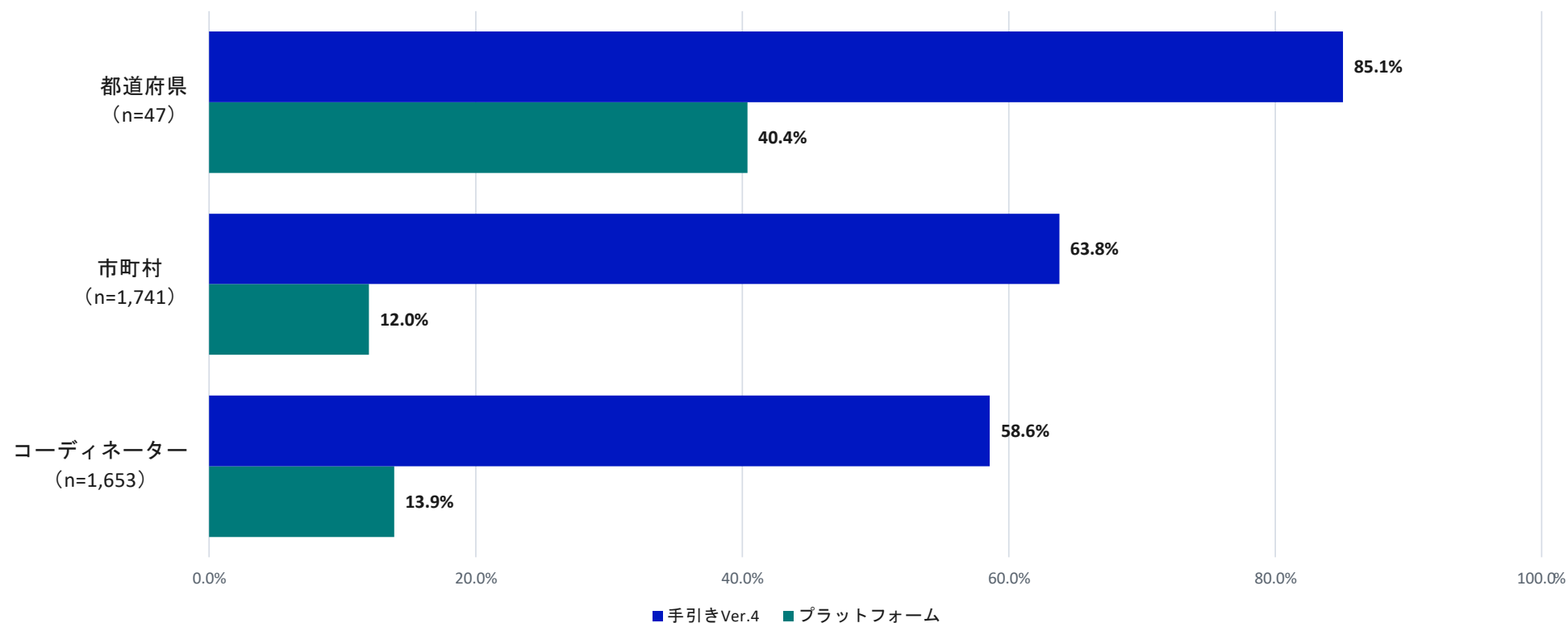


出典：厚生労働省『令和7年度 在宅医療・介護連携推進支援事業に係る調査等一式 事業報告書』 | 本文p42 | 設問：コーディネーターの課題（複数回答） | n=1,653／上位6項目を表示 | <https://www.mhlw.go.jp/content/001698233.pdf>

共通資源の活用状況を3群で比較

共通資源はある。活用には立場差

単位：％



出典：厚生労働省『令和7年度 在宅医療・介護連携推進支援事業に係る調査等一式 事業報告書』 | 本文p35・40・44 | 設問：手引きVer.4／プラットフォーム活用 | 都道府県 n=47・市町村 n=1,741・コーディネーター n=1,653 | <https://www.mhlw.go.jp/content/001698233.pdf>

まとめ

- **共通課題を一つ選ぶ**

地域のデータと現場の声から、次に扱う課題を一つに絞る

P12

- **誰を呼び、誰が動くかを定める**

部門を越えて参加できる場と、組織としての後ろ盾

P14・P16

- **次回までの行動と、確認する指標を決める**

手引きとプラットフォームを、設計の材料として使う

P17

体制の有無から、機能の実装へ